



首都圏
自然歩道

関東ふれあいの道

栃木県

こう げん

まき ば

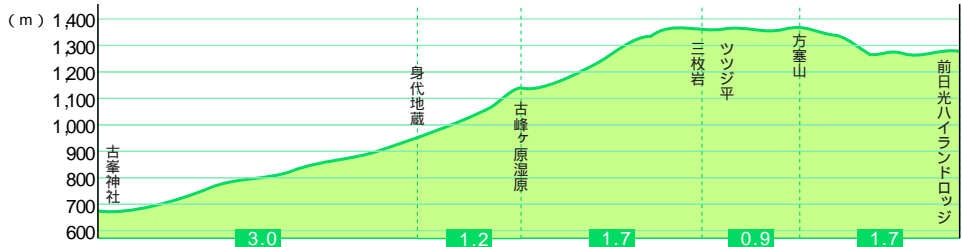
3

高原と牧場のみち

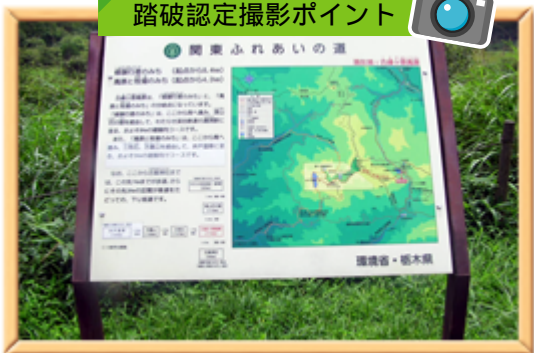
8.5km

古峯（ふるみね）神社を起点に、とちぎの景勝百選にも選ばれた古峰ヶ原（こぶがはら）高原を歩き、前日光ハイランドロッジに至るコースです。ツツジ類のきれいな古峰ヶ原湿原は、前半一気に上がった後の絶好の休憩ポイントです。そこからの尾根道は、その昔、禪頂行者のみちと呼ばれ、修験のために使われていました。途中、さまざまな野鳥のさえずりを聞くことができるでしょう。また、栃木県は雷が非常に多いことで有名ですが、周りに高いものがない尾根などは特に危険です。日差しの強い夏の午後は雷が発生しやすいので、早朝に出発し、早めに下山しましょう。

ルート標高



踏破認定撮影ポイント



古峰ヶ原湿原 (案内標識)

ヤシオツツジ、ヤマツツジ、コメツツジなど多くのツツジ類に囲まれた小さな湿原です。ヌマガヤ、ミスゴケを主とし、アブラガヤ、ヤチカワズスゲ、ノハナショウブ、コバギボウシ、エゾシロネ、チダケサシ、ヒメシダなどの湿原性植物が生育しています。8月頃には、ヒヨドリバナ、コウリンカ、ノハラアザミ、アケボノソウ、サワギキョウ、アキノウナギツカミ、ココニユリ、ヌマガヤ、ノリウツギ、ホザキシモツケなどの花が見られます。

コース周辺の見所



古峯神社

祭神は日本武尊で、臣下の藤原隼人が京都から移住して日本武尊の神霊を祭ったのが始まりと言われています。江戸時代には、古峰ヶ原天狗（日光天狗）として、鞍馬山、愛宕山、秋葉山など同様に天狗信仰で有名になり、連日多くの信者が参詣しました。神社には、奉納された大小多数の天狗面があり、江戸時代に奉納された二つの巨大な天狗の面は、鼻の高さが91cm、重さが約150kgもあり、災厄消除の神として信仰されています。



ヤマツツジ

晩春から初夏にかけて、各地の山を見事に彩る代表的なツツジです。日本人に最も親しまれている野生のツツジであり、花の色や形には変化があり多くの品種が知られています。半常緑性低木、高さは1~3mになり、枝先に朱色の花を2~3個つけます。花冠は直径4~5cmの漏斗形で5裂します。



前日光牧場

横根高原に広がる標高約1,300m、約70haの牧場で、酪農家の乳牛を育成しています。鳥の声を聴き、のんびり草を食べるホルスタインを見ながら、気持ちの良い眺望が楽しめます。夜には、都会では見られないきれいな星空があげます。



前日光ハイランドロッジ

前日光牧場内にあるログハウス風の建物で、前日光つつじの湯の源泉を使用した温泉付簡易宿泊施設です。宿泊のほか、日帰り入浴や食事、バーベキューを楽しむこともでき、売店も備えています。近くの横根山、井戸湿原、象の鼻展望台などを歩くために便利な拠点です。



ホルスタイン

明治時代から日本に輸入されている乳用種で、日本では乳牛の98%を占めています。「乳用牛の女王」と呼ばれ、全世界で広く飼育されています。穏和で飼育しやすく、寒さに強い反面、暑さには弱く、体質はそれほど強くありません。ホルスタイン種の産乳能力は年間6000~8000kgときわめて高く、中には年に2万kg以上を生産するスーパー・カウもいます。

問い合わせ

栃木県環境森林部自然環境課 自然公園担当
栃木県県西環境森林事務所 環境企画課
鹿沼市役所 観光交流課

〒320-8501 宇都宮市壩田 1-1-20 TEL.028-623-3206
〒321-1263 日光市瀬川 51-9 TEL.0288-21-1180
〒322-8601 鹿沼市今宮町 1688-1 TEL.0289-63-2303